

ABC of Clinical Reasoning

ABC of 臨床推論

診断エラーを回避する

contents

原書の序	Nicola Cooper, John Frain	3
監訳のことは	宮田靖志	5
Chapter 1 臨床推論：その全体像		12
Nicola Cooper, John Frain		
1 はじめに		12
2 臨床推論とは		13
3 なぜ臨床推論が重要なのか		14
4 病歴と診察		16
5 確率と診断的検査		16
6 臨床家もまた人である		18
7 臨床推論は患者にとって重要である		19
8 まとめ		21
Chapter 2 エビデンスに基づいた病歴と身体診察		22
Steven McGee, John Frain		
1 はじめに		22
2 エビデンスに基づいた病歴		23
3 自然経過と患者背景		25
4 エビデンスに基づいた身体診察		26
5 尤度比を使う		27
6 エビデンスに基づいた病歴と身体診察の限界		27
7 事例：安定型冠動脈疾患を診断する		29
8 臨床所見を組み合わせる		31
9 結論		31

Chapter 3 診断検査の利用と解釈 33

Nicola Cooper

1	はじめに	33
2	正常値	34
3	検査結果に影響する疾患以外の要因	35
4	検査特性	35
5	感度と特異度	36
6	集団における病気の有病率	39
7	閾値	42
8	まとめ	43

Chapter 4 臨床推論のモデル 44

Martin Hughes, Graham Nimmo

1	はじめに	44
2	演繹的推論 (deductive reasoning)	45
3	仮説演繹法 (hypothetico-deductive reasoning)	46
4	帰納的推論 (inductive reasoning)	47
5	仮説的推論 (abductive reasoning)	47
6	規則に基づく推論/分類による推論/決定論的推論 (rule-based / categorical / deterministic reasoning)	48
7	確率的推論 (probabilistic reasoning)	48
8	因果推論 (causal reasoning)	49
9	診断～仮説の生成と修正	49
10	Type 1 および Type 2 思考～デュアルプロセスセオリー	50
11	診断プロセスのエラー	52
12	熟練者と初学者の推論	54
13	まとめ	54

Chapter 5 認知バイアス 56

Nicola Cooper

1	はじめに	56
2	症例で考える認知バイアス	57
3	よくみられる認知バイアス	60
4	バイアスはType1 思考だけの問題なのか?	63
5	認知バイアスとエキスパートの直観	64
6	まとめ	66

Chapter 6	ヒューマンファクター	67
	Nicola Cooper	
	1 はじめに.....	67
	2 医療におけるエラー.....	69
	3 人間のパフォーマンスの限界.....	70
	4 チーム内でのコミュニケーション.....	75
	5 医療に内在するヒューマンファクター.....	78
	6 まとめ.....	79
Chapter 7	メタ認知と認知バイアス除去	80
	Pat Croskerry	
	1 はじめに.....	80
	2 「野蛮なる自動化」.....	81
	3 認知バイアス除去.....	83
	4 バイアス除去の全般的課題.....	87
	5 まとめ.....	90
Chapter 8	ガイドライン、スコア、意思決定支援ツールを利用する	91
	Maggie Bartlett, Simon Gay	
	1 はじめに.....	91
	2 臨床ガイドライン.....	92
	3 スコアと意思決定支援ツール.....	93
	4 ガイドライン、スコア、意思決定支援ツール使用のピットフォール.....	95
	5 診療に臨床ガイドラインを適用する；患者が意思決定を共有することを援助する.....	97
	6 まとめ.....	100
Chapter 9	臨床推論の教育	102
	Nicola Cooper, Ana L. Da Silva, Sian Powell	
	1 はじめに.....	102
	2 らせん型カリキュラム (spiral curriculum).....	103
	3 臨床推論に関する教育理論.....	105
	4 教育テクニック.....	109
	5 臨床推論における省察.....	112
	6 まとめ.....	114
	推薦書籍・論文・ウェブサイト.....	115
	索引.....	117